

部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	石井 義人	電 話	483-6587
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9801		事務事業名称	污水管渠維持事業(下水道事業_収益的支出)						短縮コード	経常	9801	臨時	
予算区分	会計	61	公共下水道事業会計_収益的支出	款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用	目	01	管渠費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		下水道法第3条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
本市の公共下水道事業は勝田台団地の開発により公共下水道が整備され,入居に併せ昭和43年10月から供用を開始し,昭和50年1月からは流域関連公共下水道として供用を開始した。また,公共下水道の修繕や維持管理等は下水道法により市町村が行うものとされているので,それに併せて供用開始区域における污水管渠等の維持管理を行っている。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
供用開始から40年以上経過していることから,管理施設の老朽化が見受けられる。また,西八千代北部特定土地区画整理事業の大規模開発及び小規模な宅地開発等が行われており,それに伴う公共下水道の整備による維持管理施設も増加していく。						大項目（節）	05	下水道						
						中 項 目	01	下水道						
						小項目（施策）	03	維持管理の充実						
						細 項 目	01	下水道施設の維持管理						
実施計画の計画事業														
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	污水施設（污水管渠,汚水人孔等）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 污水本管,汚水人孔,汚水取付管,污水公共柵及び污水マンホールポンプの修繕や清掃							
	※平成22年度に計画していること： 污水本管,汚水人孔,汚水取付管,污水公共柵及び污水マンホールポンプの修繕や清掃							
意図 （何を狙っているのか）	污水排水が安定して排除できる施設にし,快適な生活を保障する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	20年度	21年度		22年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	管延長	m	424,322	430,000	451,718	500,000	
	指標2	污水マンホールポンプ	箇所	10	10	10	10	
	指標3							
活動指標	指標1	污水管渠修繕件数	箇所	61	50	51	50	
	指標2	汚水人孔修繕	箇所	108	100	130	100	
	指標3							
成果指標	指標1	管渠等の苦情件数	件	102	80	79	80	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		9801	事務事業名称	汚水管渠維持事業(下水道事業_収益的支出)				所属名	維持管理課		
			単位	2 0 年度		2 1 年度			2 2 年度		
				実績		計画		実績		計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円								
		県	千円								
		地方債	千円								
		一般財源	千円	85, 326		65, 639		59, 166		65, 024	
		その他	千円					35		4	
	主な事業費の内訳			委託料 35, 864千円 修繕費 41, 464千円	委託料 20, 149千円 修繕費 37, 197千円	委託料 21, 711千円 修繕費 1, 490千円	委託料 20, 144千円 修繕費 34, 912千円				
	人件費 (B)			千円	16, 040		12, 708		20, 053. 2		20, 612. 4
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	101, 366		78, 347		79, 254. 2		85, 640. 4	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	下水道施設の維持管理に結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	下水道施設が存続している限り，維持管理事業は継続し続ける必要がある。				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	下水道法（第25条の二の２）により，市が行うものと義務付けられている。				
			☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状の対象と意図で結果に結びつく。				
			☐ 見直す必要がある					
☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある					
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☒ 両方可能性はある					
			☐ 可能性がない					
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☒ 民間委託等	一部直営で行っている点検・調査については，委託等の見直しを行い有効性・効率性を向上させる可能性がある。				
			☐ 臨時的任用職員等の活用					
			☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
			☐ 類似事業との統合・役割見直し					
			☐ 上記以外の方法	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
				2		実施主体 （所管部署）		
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある	業務体制の見直しを計る必要があり，十分な計画と調整が必要である。				
			☐ ない					

コード	9801	事務事業名称	污水管渠維持事業(下水道事業_収益的支出)				所属名	維持管理課	
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続					直営による迅速な対応については、限界に近づいているため、委託等を検討していく。		
		☒ 手法プロセスの改革・改善							
		☐ 事業規模の拡大・縮小							
		☐ 統合・役割見直し							
	☐ その他								
					☐ 廃止・休止				
					☐ 事業完了				
					☐ 現状のまま継続				
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			直営による迅速な対応が損なわれないような委託の手法を検討する。		
				削 減	不 変	増 加			
		成 果	向 上	☐	☒	☐			
			不 変	☐	☐	☐			
			低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
マンホール鉄蓋の振動や騒音, 污水管の詰まりの対応の要望がある。									

所属長コメント	維持事業は事業手法によって有効性・効率性の向上が期待できることから、委託業務を中心に今後も検討を進めます。								
	評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続		点検・調査の委託については、課題解決に努め、順次推進すべき。					
☒ 手法プロセスの改革・改善									
☐ 事業規模の拡大・縮小									
☐ 統合・役割見直し									
		☐ その他							
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									